

## 新学期が始まりました

新学期が始まっておおよそ2週間。厳しい暑さも和らぎ、ようやく秋を身近に感じられるようになりました。

秋は、勉学にも、スポーツや芸術などにも、いろいろな取り組みのできるいい季節です。先生方から、いろいろなお話を聞いていると思いますが、いくつか皆さんに考えてもらいたいことを紹介します。



## 主に3年生の皆さんへ 1・2年生も読んでください

進路実現に向けての「本番」が始まっています。先陣は、公務員試験と就職試験。専門学校・大学・短大がそれに続きます。皆さんが希望の進路を勝ち取るために、最後まで走り抜いてくれることを、願うばかりです。

### 公務員、就職、専門学校進学 of 皆さんへ

共通点は、出願先が自分の一生の仕事に直結することです。それだけ、本気と厳しさが要求される進路先です。

ある専門学校の先生から、こんなお話をうかがったことがあります。

「本気で専門学校に来ているのか、大学に行く勉強をするのがイヤで専門学校に来ているのか。4月の最初、座っている顔を見ただけで、一発で分かる。」

専門家となるための強い思いを持って、高校生活を精一杯過ごしてほしいと思います。「本気で来ているな」と思わせる、いい「顔」で、専門学校に進学してください。

### 大学・短大進学 of 皆さんへ

これまでの取り組みの、成果と手ごたえ、同時に、やらないといけない次の課題が、「あせり」と共に見えてきたのではないのでしょうか。

「あせり」は、頑張っている証拠です。本気で取り組んだからこそ、次の課題が見えてきた。そんな、自分の足りない点が見えてきた今こそが、踏ん張り時です。

「天下分け目の天王山の夏」と言われますが、確かに「夏」は大切な時期ですが、それだけではありません。成否を決めるのは、「夏」だけではなく、当日までの地道な取り組み全体なのです。

今まで以上に、生活のリズムを大切に、今やっている勉強をやり抜いてください。困ったことがあったら、学校の先生方に、質問・相談してください。

「〇〇について説明してほしい」「▽▽の問題がむずかしいので」「□□がうまく行かなくて困っている」「△△はどうしたらいいのか」。西高の先生方は、どんなことでも、皆さんの相談に乗ってくださいます。

先生方は 皆さんと一緒に、最後まで「伴走」します。どうか、自分を信じて、最後まで走りぬいてください。



「勉強は、ダムに水を貯めるようなものだ」という言い方があります。一定以上の水量に達しないと、ダムは発電しません。8割位まで貯まってこそ、その水を一気に放出する事でエネルギーを生み出すのです。学力も同じです。ある一定の所まで貯まると、あとは、指数関数のように、途中から急に上昇し始めるのです。

この時期、誰もが直面することなのですが、なかなか思うような結果の出ない模試の成績に落胆して、せっかく積み上げてきた勉強の手を、ゆるめたり中断したりしてはダメです。成果がなかなか見えないと感じる時こそが、踏ん張り時です。

井戸を掘っていて、随分深くまで掘ったのに、一向に水が出ないので、あきらめてやめてしまったらどうでしょう。実際は、あとしばらく掘り続けると湧き出してくるのに、それを直前でやめてしまうと、せっかくのそれまでの努力が水の泡です。

勉強は、本気で時間をかけた分、必ず結果が出ます。現役生の伸びは11月以降です。結果が目に見えるまで、いろいろな「誘惑」や「横道」に惑わされることなく、正攻法の「王道」の学習法で、「ダムに水を貯める」ことに専念してください。

## 3年生の皆さんへ

「進路実現は団体戦」です。クラスや学年全体の、「学び」の姿勢がとても大切です。お互いが、周りの人たちの頑張りの姿勢を尊重して、支えあえる関係、コミュニケーションの取れた良い雰囲気を保っていくことを、願ってやみません。

## 主に1・2年生の皆さんへ

### 高校生の学習スタイルは、確立できていますか？

- 学習開始時間は固定しているか
- 毎日学習する習慣が身についているか
- 学習スケジュールを立てているか
- 暗記するだけでなく、理解して覚えるようにしているか
- 授業に集中して取り組み、授業中に理解を深めることができているか
- 予習 - 授業 - 復習の学習サイクルが身についているか

もし、身につけていない部分があれば、今後の学習スタイルに取り入れていけるように、日ごろの自分の生活を点検し直してください。

進路実現のために、特別な勉強があるのではありません。日ごろの地道な取り組みを丁寧に積み上げること。それが「進路実現」のロイヤル・ロードなのです。

自分の生活を点検して、自分の「あたりまえ」を、高めていってください。

## 1年生の皆さんへ

2学期は、進路選択の第一歩、文理選択が行われます。先輩たちの選択のポイントは、おおよそ次のような観点です。

- |                                     |                                       |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> なりたい職業があった | <input type="checkbox"/> 学びたい学問があった   |
| <input type="checkbox"/> 得意科目があった   | <input type="checkbox"/> 周囲の人のすすめがあった |

調べたり、周囲の人と相談したりして、最終的には、自分で決めましょう。自分と向き合い、「自分を理解する」ことが、文理選択の出発点/到達点です。

